

テーマ展

自然の美







The Botanical Art

植物画でみる日本を彩る花

出品目録・解説



出品目録・解説【出品者の氏名は、インターネット版には掲載していません。】

植物画目録					担当学芸員より（※絵の解説ではありません）	
No.	作品	作品名	都道府県	科・属・学名	解説（ガイド）	
					一言解説 （川柳風）	展示解説より （一部抜粋）
早春から春を彩る花		ネコヤナギ	京都府	ヤナギ科 ヤナギ属 <i>Salix gracilistyla</i> Miq.	パッと見は猫の尾より毛虫の団地	何気なく小枝を見ると、ネコの尻尾というより毛虫の集合住宅に見えるのですけど。
		ハクモクレン	滋賀県	モクレン科 モクレン属 <i>Magnolia denudata</i> Desr	純白の大きな花びらがくはどこ？	花卉(花びら)もがく片も同じ色と形で、どれが花びらでどれががくか区別が付きません。
		コブシ	東京都	モクレン科 モクレン属 <i>Magnolia kobus</i> DC.	実(み)が拳(グー)つぼみも拳(グー)花はパー	実が大きくなると、拳というより拳でギュッと握りつぶしたように見えます。
春を彩る花		カスマグサ・スズメノエンドウ・カラスノエンドウ	東京都	カスマグサ マメ科 ソラマメ属 <i>Vicia tetrasperma</i> (L.) Schreb. スズメノエンドウ マメ科 ソラマメ属 <i>Vicia hirsuta</i> (L.) Gray ヤハズエンドウ(別名 カラスノエンドウ) マメ科 ソラマメ属 <i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.	← 大きい鳥(からす) 小さい雀(すずめ) カスマは鳩(はと)？	最も花も実も小さいのはスズメノエンドウ。その中間がカスマグサ。
		カリン	山口県防府市	バラ科 カリン属 <i>Pseudocydonia sinensis</i> (Thouin) C.K.Schneid.	かたい実もあれこれ役立つ薬にも	何とかして食べようといういる工夫されてきて、今ではしっかり市民権を得ているすぐれもの。
		クマガイソウ	広島県	ラン科 アツモリソウ属 <i>Cypripedium japonicum</i> Thunb	膨らんだかわいい袋も悲しい話	人の名前が付き、形もふしぎでおもしろいのですが、素直に楽しめない。
		ショウジョウバカマ	大阪府	シュロソウ科(ユリ科) ショウジョウバカマ属 <i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunb.) C. Tanaka	葉っぱから周りに広がる分身の術	丈夫な葉の先が地面につくとそこから芽が出て、根が出て成長するという面白い生態です。
		シロヤマブキ	東京都	バラ科 シロヤマブキ属 <i>Rhodotypos scandens</i> (Thunb.) Makino	山吹と色も違っていろいろ違う	ヤマブキはヤマブキ属で、シロヤマブキはシロヤマブキ属。属が異なり、探せばいろいろと違いがあります。

植物画目録				担当学芸員より（※絵の解説ではありません）			
春を彩る花	9		フジ	千葉県	マメ科 フジ属 <i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	しだれ藤 じっくり見たいが 蜂がくる	見事な花を咲かせますが、何しろ花の数が多いので、それだけたくさんの昆虫を集めてしまいます。
	10		ヤマフジ	島根県	マメ科 フジ属 <i>Wisteria brachybotrys</i> Siebold et Zucc.	巻きついて 咲いて納得 フジじゃない	他の木の枝に巻き付いていても、葉だけではフジもヤマフジも同じように見えてしまいます。
	11		アカマツ	兵庫県	マツ科 マツ属 <i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	松ぼっくり 種があるから 花も咲く	「松ぼっくり」は球果と言って実ではなく、その隙間に種子ができ、風で飛ばされます。マツは、花は地味ですが、山口県の県木です。
	12		ナシ(稲城)	東京都	バラ科 ナシ属 <i>Pyrus pyrifolia</i> (Burm.f.) Nakai	少しでも 大きくおいしく ヤマから里へ	少しでも大きく少しでもおいしくなあれ、という人間の欲望で栽培され、長い時間をかけて品種改良されてきました。
	13		ガマズミ	神奈川県	レンブクソウ科(スイカズラ科) ガマズミ属 <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	林縁で ふんわり目立つ 白アジサイ?	あれっアジサイ? それにしては平らで花に色が無いと思ったらこのガマズミ。
	14		アヤメ	東京都	アヤメ科 アヤメ属 <i>Iris sanguinea</i> Hornem.	アヤメは陸地 カキツバタは水没 ノハナショウブは 湿地好き	基本的には乾いた土地ではアヤメ、池など根元がすっかり水につかる場所ではカキツバタ、それなりの水辺や湿地ではノハナショウブ(園芸品種はハナショウブ)。
	15		キリ	神奈川県	キリ科(旧ゴマノハグサ科) キリ属 <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud.	軽い材 桜とともに 日本の顔	紫色で高貴な色の花を咲かせることから、菊とともに日本を代表する植物として、重要な紋章等にも使われてきました。
	16		アオギリ	神奈川県	アオイ科(アオギリ科) アオギリ属 <i>Firmiana simplex</i> (L.) W.F.Wight	幹青く 種子はポートで 葉っぱはキリ	葉が大きく雰囲気キリに似ているとはいえ、あとは全然キリに似ていないアオギリ。



植物画目録					担当学芸員より（※絵の解説ではありません）			
	No.	作品	作品名	都道府県	作者氏名	科・属・学名	展示解説（ガイド）	
							一言解説 （川柳風）	展示解説より 一部抜粋
	17		ヤマボウシ	神奈川県		ミズキ科 ミズキ属 <i>Cornus kousa</i> Buerger ex Hance subsp. <i>Kousa</i>	行儀よく 空を見上げて 〇〇コブター	葉の上にきれいに並んだ花びら。といってもこれは花びらではなく花を支える部分（総苞）。〇〇は、ヘリではありません。
	18		トベラ	東京都		トベラ科 トベラ属 <i>Pittosporum tobira</i> (Thunb.) W.T.Aiton	臭いから 鬼は逃げるが 鳥は来る	節分の鬼退治に使われるというトベラ。実はまた特有の臭気があり鳥がよく食べるというから不思議。
夏を彩る花	19		サルスベリ	京都府		ミソハギ科 サルスベリ属 <i>Agerstroemia indica</i> L.	百日間 雄しべと雄しべで 挟み撃ち	花には長い雄しべと短い雄しべがあり、虫が中に入り込むと上下で挟み込んで無駄なく花粉をつけて運んでもらいます。
	20		キツネノカミソリ	東京都		ヒガンバナ科 ヒガンバナ属 <i>Lycoris sanguinea</i> Maxim. var. <i>sanguinea</i>	ユリ系？ よく見ると ヒガンバナ系	花だけ見ればユリの花ですが、ヒガンバナのように葉が枯れた後に花茎が伸びて花が咲きます。
秋から春を彩る花	21		ワタ	大阪府		アオイ科 ワタ属 <i>Gossypium arboreum</i> L.	フワフワの 白い綿毛が 人類の宝	現在見られるのは栽培種ですが、これだけお世話になっておきながら、ワタの実や美しい花を知らない人が多いですね。
	22		ヤブツバキ	兵庫県		ツバキ科 ツバキ属 <i>Camellia japonica</i> L.var. <i>japonica</i>	虫がいらない！ でも大丈夫 鳥がいる	花に頭をつっこんだ小鳥の頭に花粉をつけて、運んでもらうという生き残り戦略。

